

# 日本建築学会北海道支部 2009 年度第 4 回常議員会議事録

記録：森

日時：平成 22 年 3 月 17 日（水）18:30～19:30

場所：北海道建設会館ビル 支部事務所会議室

出席：支部長：星野

常議員：加藤、小澤、岩田、佐伯、谷口、那須、原田、深瀬、平尾、武田、大柳、森

総務委員会委員長：菊地（優）

事務局：菊地

## 配付資料

前回（2009 年度第 3 回常議員会）議事録(案)	資料 4-1
本部理事会、支部長会議報告	資料 4-2
2009 年度決算見込みについて	資料 4-3
支部選挙管理委員について	資料 4-4
北海道支部技術賞について	資料 4-5
後援依頼について（4 件）	回覧資料

司会：小澤

## 議事内容

- 1 前回（2009 年度第 3 回常議員会）議事録（案）の確認（谷口 / 資料 4-1）
  - ・ 来年度総会について「会場が北海道第二水産ビル、懇親会が KKR ホテル札幌」の加筆をもって、承認・確定された。
- 2 本部理事会、支部長会議報告（星野 / 資料 4-2）
  - ・ 支部経営助成費について、2010 年より 3 年間は減額しないことが決定された。
  - ・ 2010 年度大会（北陸）の一般参加費の値下げについての意見が報告された。
  - ・ UIA2011 東京大会について、JIA から、研究部門は AIJ で責任担当を願いたい旨の依頼があったことが報告された。
  - ・ 2010 年度事業計画案において、総予算が 16 億 9,200 万円であり、今後の更なる収入減を見越しての綿密な検討・対策が必要であることが報告された。
  - ・ 耐震強度偽装問題以降、構造設計の考え方は、法規による縛りを主とした厳格化が進んでいるが、より实际的・実効的な考え方が必要であるとの提言について報告がなされた。
  - ・ 新法人制度対応について、AIJ は一般法人を選択したが、総会の位置づけや支部長選出、代議員・理事の決定、支部財産の扱いなど、現行体制との調整にいくつかの課題があることが説明された。新公益法人（一般法人）への対応は、2011 年 3 月に完了させる。
  - ・ 中長期計画に関して、各種委員会の整理・再編の必要性が議論された。
  - ・ CPD について、AIJ への導入から約 7 年経った現在、その利用がほとんど増えていないため、AIJ による履修登録を廃止することになった。
- 3 後援依頼について（4 件）（小澤 / 回覧資料）
  - ・ 下記 4 件の後援依頼について、報告・追認された。  
（「平成 21 年度地震防災セミナー in 函館」「場としての茶室」「第 20 回旭川建築作品発表会」「すべての建築士のための特別総合研修」）

- 4 2009 年度決算見込みについて (菊地(優) / 資料 4-3)
- ・ 今年度は、総収入見込みが 10,172,933 円、総支出見込みが 9,962,880 円、約 21 万円の黒字となる  
ことが報告された。
- 5 支部選挙管理委員について (小澤 / 資料 4-4)
- ・ 菊地優氏、谷口尚弘氏、森傑氏、那須聖氏、深瀬孝之氏の 5 名の就任が承認された。
- 6 北海道支部技術賞について (星野 / 資料 4-5)
- ・ 4 件の候補から、下記 3 件の受賞が決定された。なお、表彰は支部総会にて行われる。  
(「建物の換気廃熱を利用した融雪システム技術の開発 / 本間弘達氏、川本清司氏」「新温熱シート  
を用いたコンクリートの養生方法 / 杉山雅氏、深井公氏」「屋根に形成される雪庇防止装置の開発 /  
小林敏道氏」)
- 7 その他
- ・ 原田慎一常議員から 4 月からの転勤について報告があったが、来年度は北海道支部会員のまま常議  
員を継続することとなった。
  - ・ 次回常任幹事会 : 4 月 20 日(火)17:00 ~
  - ・ 次回常議員会 : 4 月 20 日(火)18:30 ~

以上